

〈倉光病院 アディクション家族教室って何やっているの？〉

依存症はなかなか理解されにくい病気です。しかし依存症は病気です。病気なら治療が必要なのです。本人は3か月入院治療をしてその後も通院や自助グループに通いながら回復を目指していきます。

本人が回復すればすべてが上手くいくのでしょうか？そうではありません。

今まで依存症という病気によって周囲の家族は傷つき、疲弊して家族も依存症の影響を大きく受けているのです。

そこで今回は、倉光病院の家族教室は実際どんなことをやっているのか紹介させていただきます。家族教室は全3回 どこからでも参加していただいて構いません。



- 第一回 「依存症とはどのような病か」
- 第二回 「家族の病とは何か」
- 第三回 「本人と家族の回復と再発」



第一回 「依存症とはどのような病か」

まずは、依存症という病気を理解しましょう。生まれた時から依存症の人はいません。誰にでも必ず健康的な良い部分があります。そこに依存症という病気が影響して、大切なあの人が、だらしなかつたり、嘘つきに思えてしまうのです。元々の健康的な部分と病気の部分を分けて考えます。そして、家族自身も依存症者との距離と境界線を取りながら関わる必要があります。

第二回 「家族の病とは何か」

依存症によって本人と同様に家族も大きく傷ついています。そして不健康な考え方で過ごしていくことになります。例えば、①あの人のことばかり考える②怒りや悲しみで生きている③自分のことが考えられない④自分に焦点があたらないという風に。大切な家族だからこそ、病気の影響を大きく受けてしまうのです。では、家族は何ができるのか？について話し合い家族としての正しいかかわり方を学んでいきます。

第三回 「本人と家族の回復と再発」

正しい治療を続けていくことで、依存症という病気から回復します。では正しい治療とは何なのか？どのように回復していくのか。本人の回復と同じくらい、家族の回復も大切です。

本人と家族が依存症から一緒に回復していくことが理想的ですが、仮に本人の治療が上手くいかなくても家族から回復することで、うまくいくこともたくさんあります。そして、回復の過程では再発も伴います。正しい知識をつけていることで再発が起きてもあわてることなく、治療につなげ回復へと向かうことができます。

当院では三回の家族教室を繰り返し行っております。本人も家族もしっかりと病気を理解し健康を取り戻しましょう。

毎月第2土曜日にリカバリーセンターで10時から実施しています。まずは気軽にご参加ください。

お問い合わせ先：092-811-1821 地域移行推進課まで



デイケア卒業は今！ Vol.17



こんにちは！リカバリーセンター に勤務しております辻です。デイケア卒業生の方のインタビューをお届けする“デイケア卒業生は今！”今回はアディクションリカバリーセンター(A RC)卒業生の清水 義隆さんです。現在、倉光病院の総務清掃部門で勤務されています。リカバリーを目指すみなさん、そのご家族や地域の方々など、みなさんに読んでいただくと嬉しいです。



ピアスタッフ
として活躍中



アディクション
リカバリーセンター通所

アディクション
リカバリーセンター卒業

倉光病院
入 職

Q. 現在、総務 清掃(倉光病院)で勤務されていますが、働いていて嬉しいことは何ですか？
医療従事者の一員として働くことが出来たことです。感謝

Q. では、反対に働いていて大変だなあと感じることはありますか？
家に帰り付いた時です。

Q. 働こうと思ったきっかけは何かありましたか？
自分で働いて、ごはんを食べたかったからです。

Q. 現在は病気とどのように付き合っていますか？
病気は先生にまかせて、自分に出来る事を最大限に生かしてます。

Q. これからの夢や目標はありますか？
一日でも長く働ける事を願います。

☆最後に、社会復帰を目指す仲間メッセージをお願いします！！
居場所と帰れる場所を自分の手でつかんで下さい。



清水さん！
ありがとうございました！！



アディクション家族教室

☆ホームページにて最新情報を随時更新中☆
① 感染対策：来院時の検温と手指消毒、各自マスクをの協力をお願いいたします。
予 定：第2土曜日 10時～11時45分
開催場所：病院横 リカバリーセンター

お問い合わせ：代表電話 (092-811-1821)
地域移行推進課へお願いします。